

視線推定によるキーボード入力

概要

通常、ノートパソコンにはカメラがついており、そのカメラを利用して視線入力を行い、キーボード入力を行う

用途としてはキーボード入力ができない身体障害者の方や寝たきりの方の利用が考えられる

システム例

- Webカメラが付いているPCであれば可能



動作概要

- 画面にキーボードが表示され、それを視線入力によって文字を確定していく
- 文字を確定・変換する場合などは、右目、左目を使用する予定
- 視線入力自体はマウスのエミュレートを行い、キーボード側がそれに合わせたような動作をすることになる（次ページ参照）

動作概要 2



- マウスドライバに視線入力ドライバを接続すれば、比較的容易に実現できると思われる
- Linuxなどではパイプで接続すれば動作が可能だと思われる

懸念事項など

- 視線入力の初期設定（アライメント）
 - 画面の4隅などに視線を合わせることでアライメント出来ると思われるが、そのモードに入ることは何らかのキー入力が必要
- 文字確定時の動作の安定性
 - ウィンクの動作が必要になるため
- キーボードの配列の最適化
 - 恐らく通常のキーボードは細かすぎて使用できるか疑問